# ZABBIX 2021 Conference



# コンテナでの監視機能の実装と problemテーブル肥大化問題の事例紹介

2021年11月18日

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

名倉 堂心(なくら たかみ)

### 自己紹介





### 名倉堂心(なくらたかみ)

### 【経歴】

2020年4月 新卒でNTTコムソリューションズ入社(入社2年目)

2020年9月~ Zabbixの構築・運用業務に従事

2021年7月 NTTコミュニケーションズ合併後もZabbixに関わる

【スポーツ歴】

サッカー歴9年、空手歴9年、ラグビー歴8年目(継続中)

### 会社紹介



## NTT コミュニケーションズ株式会社

(https://www.ntt.com/)

- ・2008年より、Zabbix社と提携したZabbix関連事業を開始
- ・ZABICOMソリューションの導入/運用/製品供給などのサービスを提供





https://www.zabicom.com

### 目次



- 1. コンテナでの監視機能の実装について
- 2. problemテーブル肥大化に関する事例と対応について
- 3. ちょっとだけ宣伝
- 4. まとめ



# コンテナでの監視機能の実装について

### どんな要件があるのか?



#### 要件

- ① ネットワーク・システムの監視をしたい
- ②オンプレ、仮想環境の監視にZabbixを導入したい

# 監視システムとして、Zabbixを 物理サーバまたは仮想サーバで導入するケースがほとんど

## Zabbixの導入時に用いるプラットフォームは?





物理マシン



仮想マシン



コンテナ

### 今回お話するケースでは…



検証環境でOKが出たものを、本番環境に適用したい



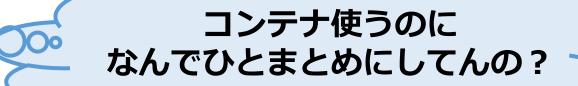
という要件も...



検証環境から本番環境へ移植・適用する作業が必要

### ギモン&ツッコミ





オンプレでの設計と 変わんなくない? コンテナ使う意味ww

A.ごもっともです。。。

# 仮にマイクロサービス化した場合





で、保守・運用どうするの?

たしかに(;'∀') 実績もないしどうしよう。。。



### All in One構成にするメリット



### 1台に複数のマイクロサービスコンテナでZabbixを構築する場合との比較

### メリット

✓ オンプレとほぼ同様の構築手順✓ オンプレ構築と変わらない保守性、運用性



自分たちが保守・運用をするにあたっても確実な手段

### つまるところ…







いいとこどり◎







### まとめると



- ✓ 検証環境から本番環境への適用がスムーズ
- ✓ 自分たちが保守・運用するにあたっても安心



All in Oneコンテナが最適だった



# problemテーブル肥大化に関する 事例と対応について

## problemテーブルとは?



### データベース内の「障害中」のイベントデータを格納する場所(テーブル)

「監視データ」→「障害」画面の**最近の障害**または**障害**が参照するテーブル



#### ※参考※

https://assets.zabbix.com/img/zabconf2020\_jp/presentations/02\_2zabconf2020.pdf

### Zabbix4.0以降の「正常イベント」の考え方



### 「絶賛障害中のイベントが復旧したよ!」が正常イベントの定義



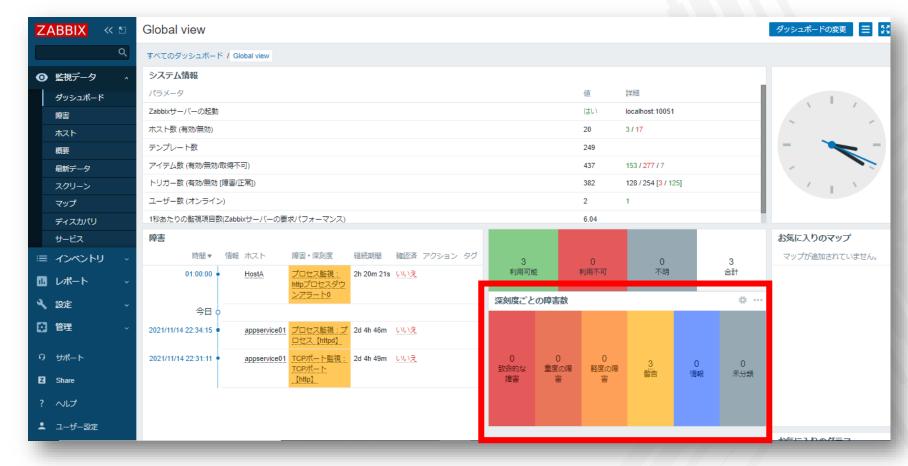
障害中のデータは復旧しない限り データの保存期間を過ぎてもテーブルに残り続ける

## 「problemテーブル肥大化問題」ってナニ?



### 障害イベントが蓄積することで

ZabbixのWeb画面の表示が遅くなる、あるいは、表示できなくなる問題



# problemテーブルが肥大化する原因



### 復旧しない障害イベントが蓄積すること

トリガー	
すべての木スト / HostA 有効 ZBX SNMP JMX IPMI アプリケーション アイテム 20 トリガー 19 グラフ ラ	ディス
トリガー タグ 依存関係	
* 名前 ろぐ検知	
運用データ	
深刻度 未分類 情報 警告 軽度の障害 重度の障害 致命的な障害	
	מל
条件式ビルダー	- 1
正常イベントの生成 条件式 復旧条件式 なし	
障害イベント生成モード 単一 複数	- 1
正常時のイベントクローズ すべての障害 タグの値が一致したすべての障害	
手動クローズを許可	╝

- ✓ イベント生成モード:複数
- ✓ 手動クローズを行わない運用

### 原因になりやすい監視

- ✓ ログ監視
- ✓ SNMPTrap監視

# problemテーブルを肥大化させないために



- ✓ 復旧イベントを生成する
- ✓ 定期的に手動クローズを行う



## 復旧条件式の設定方法 (regexp関数を使用する際)



監視するログファイル

監視するログファイルに存在する正規表現

障害条件式 {HostA:log[/var/log/messages,"ERROR"].regexp("ERROR",30)}=1



regexp関数:最新の値に第1引数の正規表現が、直近の第2引数に指定した期間内に存在するか判定する関数



復旧条件式 {HostA:log[/var/log/messages,"ERROR"].nodata(30)} = 1

アイテム:監視データ取集の定義

トリガー:アイテムの障害判定の定義

nodata関数:特定の期間内にアイテム を取得してないかどうかを判定する関数

※引用元※

https://assets.zabbix.com/img/zabconf2020\_jp/presentations/02\_2zabconf2020.pdf

## regexp関数の第2引数がなぜ必要になるのか



障害条件式 {HostA:log[/var/log/messages,"ERROR"].regexp("ERROR",30)}= 1

復旧条件式 {HostA:log[/var/log/messages,"ERROR"].nodata(30)} = 1

復旧イベントが生成される条件は…

障害条件式が成立しない、かつ、復旧条件式が成立する場合のみ

最新値の検索期間を制限する必要がある

### 実際に出会った事象



# problemテーブル内にデータが200万件以上溜まり Web画面に<u>アクセスできなくなる</u>



### DBから直接データの削除を試みるも事態は好転せず…



DBの作り直し

```
MySQL [zbx0003je]> select count(*) from problem where r_clock=0;
+-----+
| count(*) |
+-----+
| 2441611 |
+-----+
1 row in set (5.844 sec)
```

### どう対応したのか



### 一定期間データを取得しない場合に、自動で復旧させる条件式を設定



nodata関数を使用

現在は正常に運用ができている◎

### 自動復旧条件式の設定のしかた注意!



ログ監視で、第2引数を指定しないで アイテムを取得することはよくありますよね?



アイテム: log[/var/log/messages]

トリガー①:{HostA:log[/var/log/messages].regexp("ERROR")} = 1

トリガー②: {HostA:log[/var/log/messages].regexp("CRITICAL")} = 1

### 自動復旧条件式の設定のしかた注意!



### 同じアイテムに複数のトリガーを設定する場合

### トリガー①

障害条件式 {HostA:log[/var/log/messages].regexp("ERROR",30)}=1

復旧条件式 {HostA:log[/var/log/messages].nodata(30)} = 1

### トリガー②

障害条件式 {HostA:log[/var/log/messages].regexp("CRITICAL",30)}=1

復旧条件式 {HostA:log[/var/log/messages].nodata(30)} = 1

### どんなことが起こるか?



2021/11/18 **12:00:00** → ERROR → ERROR の障害を検知

2021/11/18 **12:00:01** → ERROR → ERROR の障害を検知

2021/11/18 **12:00:02** → CRITICAL → <u>CRITICAL</u>の障害を検知



ERRORの障害も検知

### 原因は何??



### トリガー①

障害条件式 {HostA:log[/var/log/messages].regexp("ERROR",30)} = 1

### トリガー②

障害条件式 {HostA:log[/var/log/messages].regexp("CRITICAL",30)}=1

2021/11/05 12:00:00 "ERROR"

2021/11/05 12:00:01 "ERROR"

2021/11/05 12:00:02 "CRITICAL"

5

直近の30秒間に "ERROR"アルネ

### このような誤検知が起きないようにするために





データ収集の段階で、取り込むデータを絞り込む!

### 忘れてはいけないのは…



### 目的はproblemテーブルを肥大化させないこと

トリガー	
すべてのホスト / HostA 有効 Z	SNMP JMX IPMI アプリケーション アイテム 20 トリガー 19 グラフ ディスカ
トリガー タグ 依存関係	
*名前	ろぐ検知
運用データ	
深刻度	未分類 情報 警告 軽度の障害 重度の障害 致命的な障害
* 障害の条件式	{HostA:log[/hoge/moga.log,ERROR].regexp(ERROR)}=1
	条件式ビルダー
正常イベントの生成	条件式 復旧条件式 なし
* 復旧条件式	{HostA:log[/hoge/moga.log,ERROR].nodata(30)}=1 追加
	条件式ビルダー
障害イベント生成モード	単一 複数
正常時のイベントクローズ	すべての障害 タグの値が一致したすべての障害
手動クローズを許可	

復旧イベントを 正しく生成することが大事!



# ちょっと宣伝

### 手動での障害復旧って大変ですよね…



- ✓特にログやTrapのバースト時は確認や復旧に時間がかかる
- ✓ そもそも通知が多くて重要な障害を見落とす可能性もある



アラートの集約機能&自動クローズ可能なツール 「GatherAlert」があります!

### 何ができるの?



### 一定期間おきに、障害内容をまとめて通知できる





以上

### 何ができるの?



### GatherAlert【重度·致命的障害】



GatherAlert@zabicom.com 宛先 ●



attach.zip 712 バイト

csv出力可能!

監視担当者様

ZABICOM GatherAlert です。

障害を検知しました。

お客様名:㈱南畑エンターテイメント様

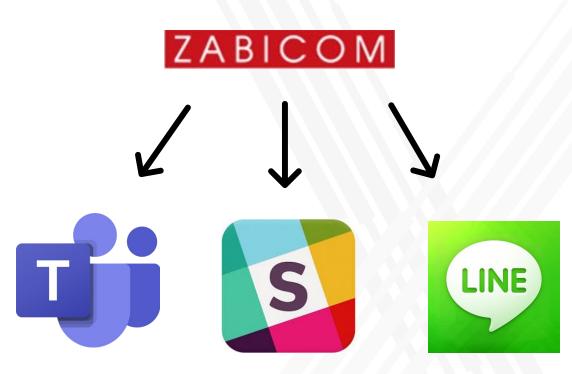
システム名:猿楽マネジメントシステム

以下、障害内容:

"イベント発生日時","イベント深刻度","イベント種別","ホスト名","イベント内容","[他件数]"

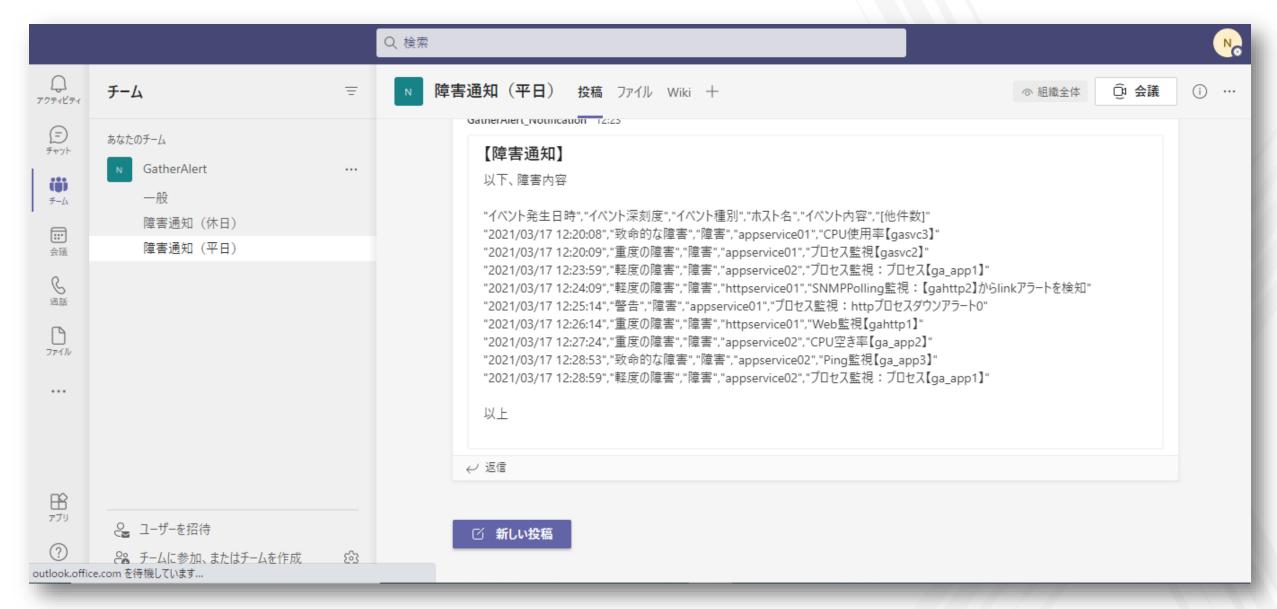
"2021/01/08 15:50:23","重度の障害","正常","appservice02","Ping 監視【ga\_app3】"

"2021/01/08 15:51:38","致命的な障害","正常","httpservice01","Ping 監視【gahttp3】"



### 通知イメージ(Teams)





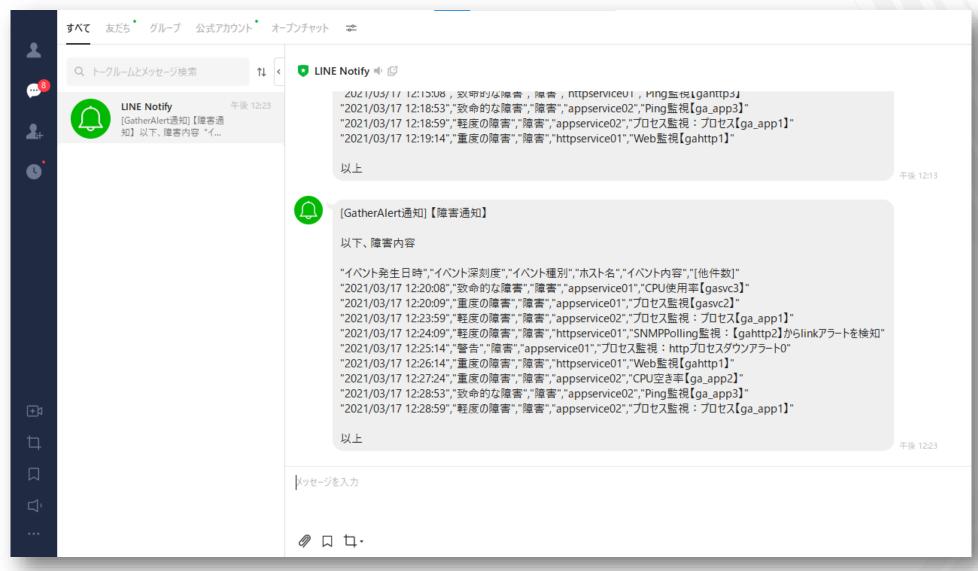
### 通知イメージ(Slack)

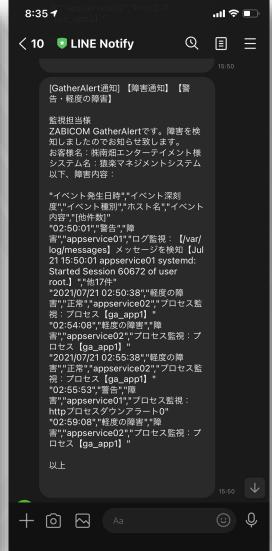




### 通知イメージ(LINE)



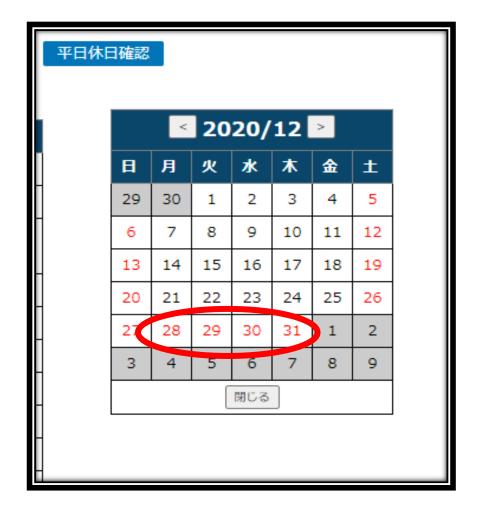




### さらに



### 営業日と営業時間を自由に設定することができる



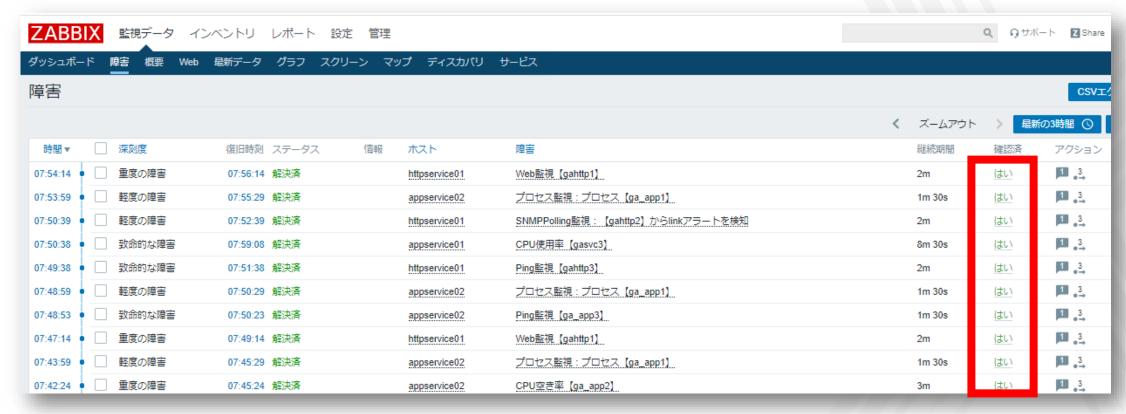
カレンダー機能 実装してますが何か?



### どんなメリットがある?



- 1. アラートがまとまって通知される
- 2. 営業日・営業時間に応じて通知先を振り分けられる
- 3. 通知した障害については**自動でクローズ**する





# まとめ

### 発表内容のまとめ



- ✓ 何でAll in Oneコンテナで実装したの?
- ✓ problemテーブル肥大化に関する事例と対応について
- ✓ GatherAlertの紹介



ご聴講ありがとうございました!